

社会福祉法人 正栄会

SDGs宣言

当法人は、経営理念である「時代の先進性を捉えつつ、社会福祉法人の先発優位性を顧客・地域に還元する」のもと、地域の福祉・介護等事業活動を通じてSDGsに取組み、地域社会の持続的発展に貢献してまいります。

2022年9月8日
社会福祉法人 正栄会
理事長 南里 尚

■ SDGsの達成に向けた取組 ■

多様な人材が活躍できる柔軟な勤務体制づくり

性別、障害、国籍、宗教などによる差別の禁止を目的に、多様な人材が活躍できる環境の整備に努めます。

【具体的な取組】

- 女性管理職割合を全社員の20%まで向上
- 各種休暇制度（産休・育休・介護休暇等）の取得推進
- 子育てしやすい環境整備（くるみん等）取得
- 多様な人材が活躍する為の柔軟な勤務時間の対応（時短出勤・経理部門のリモートワークの活用等）



ゴミ・廃棄物削減

未来の地球環境を守るため、自社で排出する廃棄物の削減やリサイクル等の活動に努めます。

【具体的な取組】

- 会社一丸となった廃棄物排出量の削減、リユース・リサイクルの推進（ペットボトル・空き缶の分別回収など）
- 廃棄物の管理体制の強化（廃棄物処理法の順守、廃棄物管理責任者の選任等）
- ペーパーレス化の推進



社会・地域活動の情報発信の推進

住み続けられるまち（施設）づくりを念頭に、地域の方々が平等・公平・安全・良質な地域づくりに貢献していきます。

【具体的な取組】

- 地元小・中学校の体験教室の継続
- 地域ボランティアの積極的な参加を推進
- 会社ホームページで地域活動を公表していく



リスクマネジメントの実施

持続的な事業活動のために、自社の業務において発生しうるリスクを認識し、あらゆる対策に努めます。

【具体的な取組】

- 事業継続にかかる緊急時の組織づくり（連絡網・行動分担表の作成等）
- リスクアセスメントの実施
- リスクマネジメントに関する研修を年1回実施
- 事業継続計画（BCP）の策定を行い、職員への研修を実施



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

SDGsとは、Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。